

# 令和3年度 高知県の国民健康保険料(税)収納率の状況

## 1. 全国の国民健康保険料(税)収納率の推移

収納率は下降の傾向が続き、平成16年度には90.09%まで落ち込みましたが、平成17年度には上昇に転じ、平成19年度には90.49%まで上昇しました。

後期高齢者医療制度が導入された平成20年度は88.35%で、対前年度比2.14ポイント下降しましたが、これは、納付率の高い75歳以上の者が抜けたことが要因と考えられます。その後、平成22年度以降は年々上昇しています。令和3年度は対前年度比0.55ポイント上昇し、94.24%となっています。(表①参照)

表① 国民健康保険料(税)収納率(現年分)推移

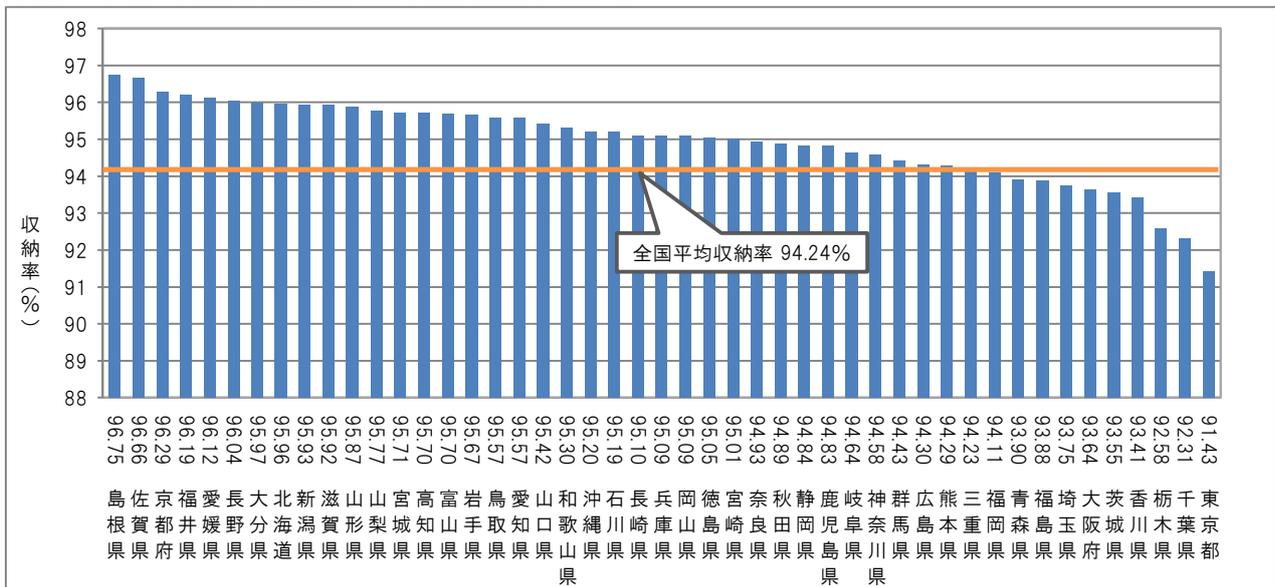
	収納率	前年度比		収納率	前年度比		収納率	前年度比
S36 (1961)	92.85%	1.00	S57 (1982)	93.62%	▲ 0.21	H15 (2003)	90.21%	▲ 0.18
S37 (1962)	93.40%	0.55	S58 (1983)	93.40%	▲ 0.22	H16 (2004)	90.09%	▲ 0.12
S38 (1963)	94.48%	1.08	S59 (1984)	93.57%	0.17	H17 (2005)	90.15%	0.06
S39 (1964)	94.67%	0.19	S60 (1985)	93.62%	0.05	H18 (2006)	90.39%	0.24
S40 (1965)	94.79%	0.12	S61 (1986)	93.69%	0.07	H19 (2007)	90.49%	0.10
S41 (1966)	95.16%	0.37	S62 (1987)	93.91%	0.22	H20 (2008)	88.35%	▲ 2.14
S42 (1967)	95.69%	0.53	S63 (1988)	94.13%	0.22	H21 (2009)	88.01%	▲ 0.34
S43 (1968)	95.86%	0.17	H1 (1989)	94.04%	▲ 0.09	H22 (2010)	88.61%	0.60
S44 (1969)	95.92%	0.06	H2 (1990)	94.17%	0.13	H23 (2011)	89.39%	0.78
S45 (1970)	95.82%	▲ 0.10	H3 (1991)	94.16%	▲ 0.01	H24 (2012)	89.86%	0.47
S46 (1971)	95.92%	0.10	H4 (1992)	93.87%	▲ 0.29	H25 (2013)	90.42%	0.56
S47 (1972)	96.25%	0.33	H5 (1993)	93.48%	▲ 0.39	H26 (2014)	90.95%	0.53
S48 (1973)	96.47%	0.22	H6 (1994)	93.27%	▲ 0.21	H27 (2015)	91.45%	0.50
S49 (1974)	96.26%	▲ 0.21	H7 (1995)	93.32%	0.05	H28 (2016)	91.92%	0.47
S50 (1975)	95.85%	▲ 0.41	H8 (1996)	93.00%	▲ 0.32	H29 (2017)	92.45%	0.53
S51 (1976)	95.38%	▲ 0.47	H9 (1997)	92.38%	▲ 0.62	H30 (2018)	92.85%	0.40
S52 (1977)	95.01%	▲ 0.37	H10 (1998)	91.82%	▲ 0.56	R1 (2019)	92.92%	0.07
S53 (1978)	94.85%	▲ 0.16	H11 (1999)	91.38%	▲ 0.44	R2 (2020)	93.69%	0.77
S54 (1979)	94.78%	▲ 0.07	H12 (2000)	91.35%	▲ 0.03	R3 (2021)	94.24%	0.55
S55 (1980)	94.31%	▲ 0.47	H13 (2001)	90.87%	▲ 0.48			

## 2. 全国における高知県の位置づけ

### 2-1. 国民健康保険料(税)収納率

令和3年度の全国における収納率上位は1位島根県(96.75%)、2位佐賀県(96.66%)、3位京都府(96.29%)。下位は45位栃木県(92.58%)、46位千葉県(92.31%)、47位東京都(91.43%)。高知県は95.7%で14位となっています。(表②参照)

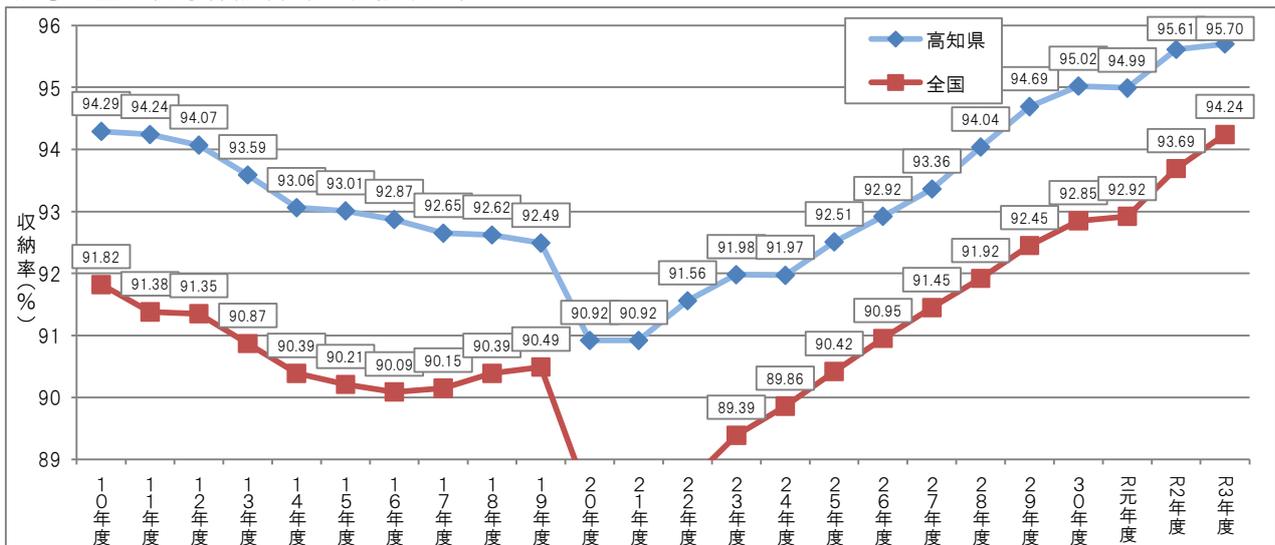
表② 令和3年度国民健康保険料(税)収納率(全国)



厚生労働省調査『令和3年度における国民健康保険事業の実施状況報告の集計結果』より

高知県の収納率は、平成10年度以降下がりが続き、後期高齢者医療制度が導入された平成20年度は全国と同様に大幅に下がったものの、平成21年度は平成20年度と同率で推移し、平成22年度以降は平成24年度、令和元年度が前年度並みであったものの年々上昇しています。令和3年度は対前年度比0.09ポイント上昇し、95.7%となっています。(表③参照)

表③ 国民健康保険料(税)収納率比較



厚生労働省調査『令和3年度における国民健康保険事業の実施状況報告の集計結果』より

## 2-2. 国民健康保険世帯における滞納世帯の割合

令和3年度の滞納世帯割合は全国が11.9%、高知県は8.1%となっています。(表④参照)

表④ 国保世帯における滞納世帯の割合

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
全 国	18.1%	17.2%	16.7%	15.9%	15.3%	14.5%	13.7%	13.4%	11.9%
高知県	13.2%	12.2%	11.5%	10.8%	9.1%	9.1%	9.0%	10.0%	8.1%

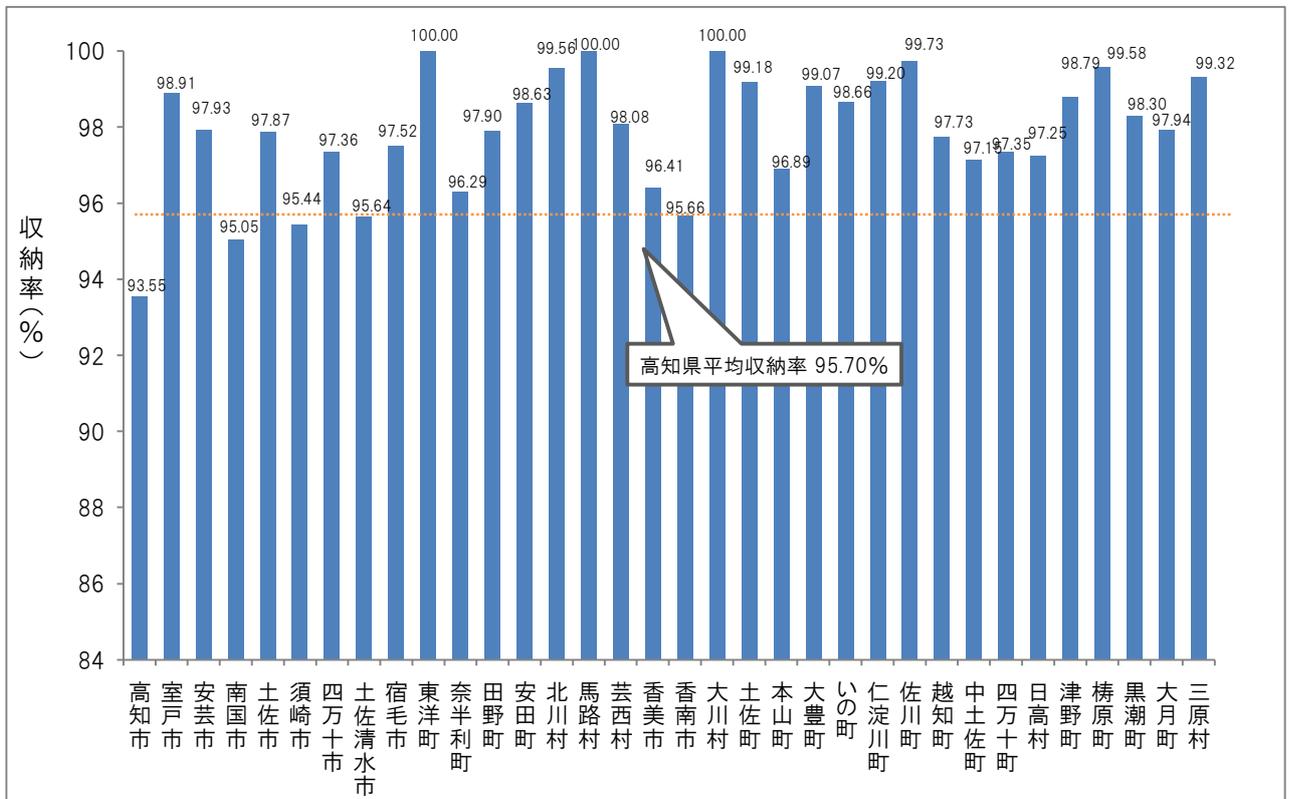
厚生労働省調査『令和3年度における国民健康保険事業の実施状況報告の集計結果』より

## 3. 高知県の現状

### 3-1. 各市町村の国民健康保険料(税)収納率(現年分)

令和3年度の県平均収納率(現年分)は95.7%で、収納率上位は東洋町(100%)、馬路村(100%)及び大川村(100%)となっており、県平均を下回るのは5市となっています(高知市(93.55%)、南国市(95.05%)、須崎市(95.44%)、土佐清水市(95.64%)、香南市(95.66%))。(表⑤参照)

表⑤ 令和3年度国民健康保険料(税)収納率(現年分)

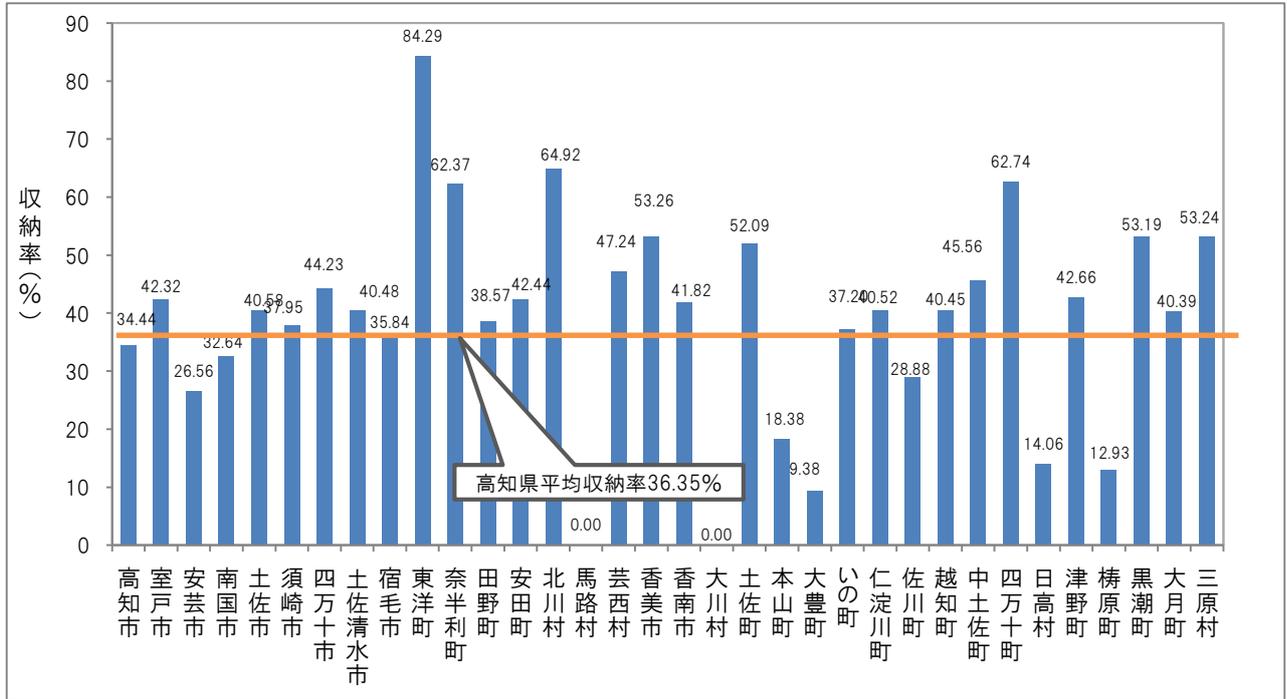


『令和3年度国民健康保険事業状況報告書(事業年報)』より [速報値]

### 3-2. 各市町村の国民健康保険料(税)収納率(滞納繰越分)

令和3年度の県平均収納率(滞納繰越分)は36.35%で、収納率上位は東洋町(84.29%)、次いで北川村(64.92%)、四万十町(62.74%)となっており、県平均を下回るのは4市4町1村となっています。(表⑥参照)

表⑥ 令和3年度国民健康保険料(税)収納率(滞納繰越分)



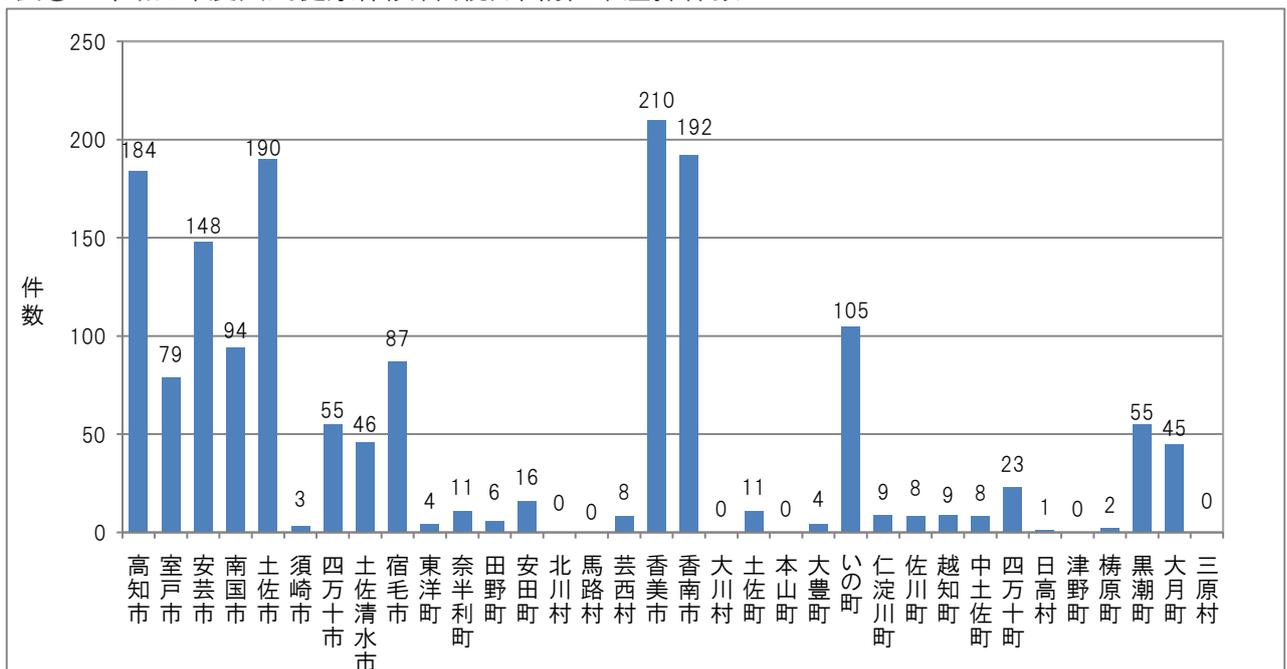
『令和3年度国民健康保険事業状況報告書(事業年報)』より[速報値]

※馬路村、大川村は対象なし

### 3-3. 滞納世帯に対する差押実施状況

令和3年度の県内市町村の差押件数については、以下のとおりです。(表⑦参照)

表⑦ 令和3年度国民健康保険料(税)滞納世帯差押件数



厚生労働省調査『令和3年度における国民健康保険事業の実施状況報告書の集計結果』より

※北川村、馬路村、大川村、本山町、津野町、三原村は対象なし